



Top Message ●ご挨拶

当社は、明治40年(1907年)の創業以来、100年以上にわたって、消防車のトップメーカーとして、わが国の消防技術発展の歴史とともに歩んでまいりました。これもひとえに株主様をはじめ関係各位からの温かいご支援、ご愛顧の賜物と深く感謝申し上げます。

当社グループは、「人と地球のいのちを守る」というスローガンを掲げ、消防車両・防災・産業機械・環境車両の4つの事業を展開し、災害からかけがえない生命、財産を守るというテーマと緑豊かな自然環境を守るというテーマに取り組んでおります。また、それを実現させるための

人材の確保については、働き方の改革や女性の活躍推進を柱に性別・国籍・年齢等に関係なく多様な価値観を尊重するとともに、各々が能力を最大限に発揮できる環境づくりを進めております。

そして、2016年度に定めた中期経営計画に掲げました、「新規市場の開拓」「既存事業の収益力強化」「商品開発力の強化」「持続的成長に向けた投資の推進」を基本方針とし、さらなる飛躍と企業価値の向上・社会貢献を図ることを目指し取り組んでおります。今後ともより一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役会長兼CEO 中島 正博

代表取締役社長 尾形 和美

第85期第2四半期の概況

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益
27,516 百万円	950 百万円	1,242 百万円	664 百万円
前年同期比 6.9%減 ↓	前年同期比 48.6%減 ↓	前年同期比 39.4%減 ↓	前年同期比 49.1%減 ↓

当第2四半期におけるわが国経済は、政府による経済対策などを背景に、企業収益や雇用情勢は回復基調で推移しましたが、米国新政権の動向及び北朝鮮問題など地政学的リスク増大の影響等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは3か年の中期経営計画「Morita Advance Plan 1000」の2年目として、企業価値の向上に向けた諸施策に取り組んでおります。

経営成績につきましては、売上高は、前年同期比2,054百万円減少し、27,516百万円(6.9%減)となりました。また、営業利益は、前年同期比900百万円減少し、950百万円(48.6%減)、経常利益は、前年同期比809百万円減少し、1,242百万円(39.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比640百万円減少し、664百万円(49.1%減)となりました。

モリタの消防車トピックス ここに注目！

JIDA デザインミュージアム
セクション VOL.18
2014年度グッドデザイン賞受賞



今回は、消防戦略を変える次世代型消防車「MVF 13mブーム付多目的消防ポンプ自動車」を紹介します。

MVFとは、MORITA VARIOUS FIGHTER の略です。このMVF1台で、多種多様な消火活動・災害救助活動に活躍する、新しい消防車として誕生しました。

救助は一秒でも早く

多目的機能最大の特長は、3名まで乗車可能なバスケット付きブームです。自由自在なブームで幅広い救助活動をサポートします。

また、大きなはしご車とは異なり、あらゆる現場にスイスイ侵入が可能で、機動力の高さには定評があります。

さらに、新型MVFは四輪駆動車にも対応し幅広い活動範囲を誇ります。



水槽車同等の消火能力



【写真掲載の車両は、コンセプト車両です】

MVFは、消火でも従来の消防車同等の能力を備えています。コンパクトな車両でありながら、一般的な消防車と同様のA-2級ポンプを設け、900ℓ水槽を搭載しているため、現場到着後に素早く放水を行うことができます。また、最新の消火装置CAFS(キャフス)を搭載し、少量の水で効率よく消火するとともに、簡単操作、軽いホースの取り回しなど、消火現場で隊員の負担を軽減します。

さらに、ブームには伸縮式の水路管を装備しており、簡単に上方からの放水、俯瞰注水が可能です。

MVFは収納も十分

車体左右にはホースをはじめ、消火資機材の収納スペースを十分に確保。多様化する活動現場に備え、ホースなどの消火器具はもちろん、各種資機材をシャッターボックス内に積載することができます。



グッドデザイン賞も受賞しています



その機能性を最大限に表したスタイリッシュなデザインは2014年度のグッドデザイン賞を受賞しています。最新素材カーボンファイバー製のハイルーフを採用し、従来よりも軽量化を実現。車内天井は高く、作業台としてのキャブ天井を備えるなど、隊員の快適な空間の確保と作業効率のアップをサポートします。側面ワイドLED作業灯は、より広い範囲を照らし出し、夜間作業の安全性を更に向上させました。

MVFは、モリタが提案する全く新しい消防車です。すでに、発売以来20台以上の受注実績があり、その活躍に期待が高まっています。

この新しい発想は、一人でも多くの命を救いたいと願う、モリタからの提案です。

プレス式電動塵芥収集車 Press Master E-SVN (プレスマスターイー・セブン)を開発、販売開始

モリタエコノスが、このたび開発し、販売開始したPress Master E-SVN(プレスマスターイー・セブン)は、ゴミ収集の効率化と負担軽減、安全性の改善を図るとともに、地域社会の環境に配慮したプレス式電動塵芥収集車です。

独自のハイマウントリアパネルに灯火器などを集約し、後方からの視認性を高め安全性を向上させたことに加え、作業者の負担軽減を図るため、投入口の高さを変更し、作業性を向上させました。また、ボディ容積はクラス最大に拡大し基本性能を高め、更に電動駆動モードでは排気ガスゼロ、連続作業回数はクラス最多のサイクルを実現し、騒音も低減しました。

そして美しく力強いデザインは、世界的に有名なデザイン賞「iFデザイン賞」を受賞しております。

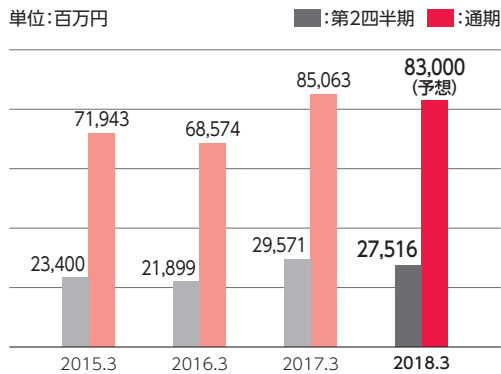
今後もおお客様の声を大切に「より安全に、使いやすく。街にやさしい！」を追求してまいります。



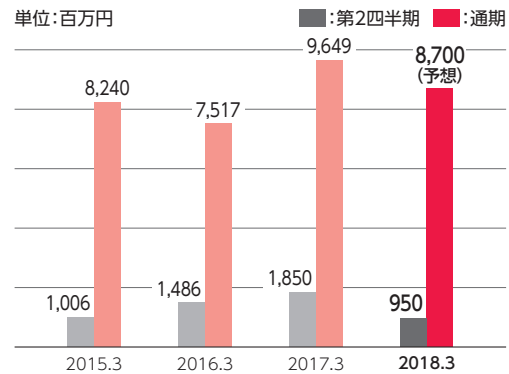
プレス式電動塵芥収集車 Press Master E-SVN (プレスマスターイー・セブン)

財務ハイライト(連結)

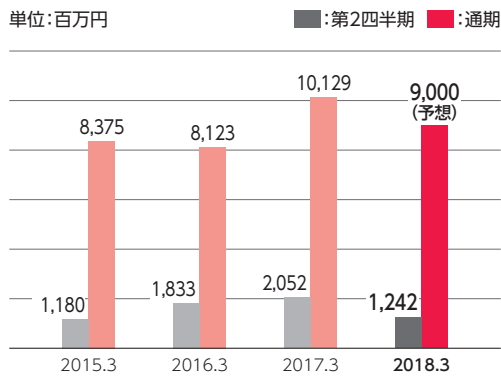
売上高



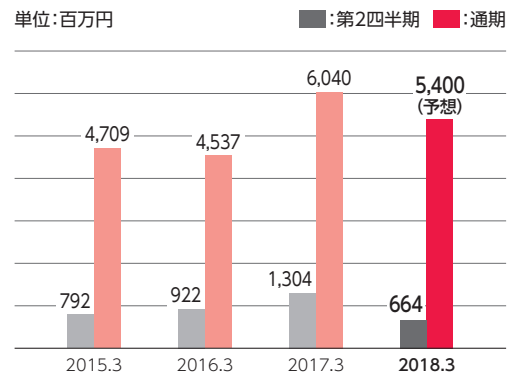
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



セグメント別概況

防災事業

売上高 7,344百万円 前年同期比 2.4%減 ↓
セグメント利益 112百万円 前年同期比 62.2%減 ↓



パッケージ型自動消火設備「スプリネックス」の受注を確保したものの、工事の完成が第3四半期以降に偏重する見通し。

消防車両事業

売上高 13,671百万円 前年同期比 10.5%減 ↓
セグメント利益 577百万円 前年同期比 42.9%減 ↓



前期に国内需要が増加した反動による減少。

環境車両事業

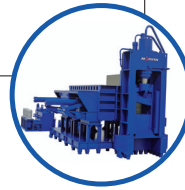
売上高 4,860百万円 前年同期比 1.6%減 ↓
セグメント利益 222百万円 前年同期比 60.9%減 ↓



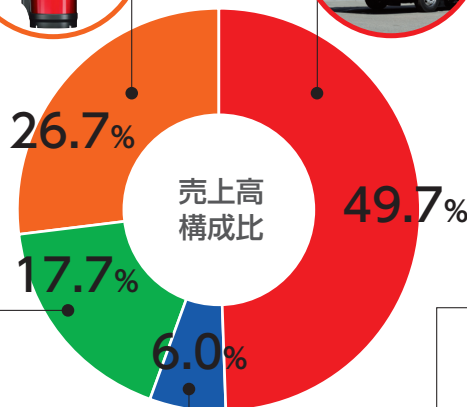
新型プレス式塵芥収集車「プレスマスター」の販売が増加したものの、部品販売が減少。

産業機械事業

売上高 1,640百万円 前年同期比 10.6%減 ↓
セグメント利益 24百万円 前年同期は9百万円の損失 ↑



製品受注が減少する中で部品・メンテナンスの販売に注力。



会社・株式情報

商号	株式会社モリタホールディングス
創業	明治40年4月23日
設立	昭和7年7月23日
資本金	47億4,612万円
大阪本社	大阪市中央区道修町3丁目6番1号
東京本社	東京都港区西新橋3丁目25番31号
事業内容	グループ各社の事業活動の支・管理及び管理間接業務の受託

役員

代表取締役会長兼CEO	中島正博
代表取締役社長	尾形和美
取締役副社長	前嶋幸広
取締役	磯田光男
取締役	川西孝雄
常勤監査役	浅田栄治
常勤監査役	佐々木純
常勤監査役	高野祐介
監査役	太田将
常務執行役員	金岡真一
常務執行役員	村井信也
執行役員	浦野ヒロ子
執行役員	坂本直久
執行役員	伊藤満

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告の方法	電子公告とし、当社のホームページに掲載する。 http://www.morita119.com/kohkoku/index.html
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
上場証券取引所	東京証券取引所
1単元の株式数	100株

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といひます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【大阪本社】

〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目6番1号
☎06-6208-1907

【東京本社】

〒105-0003 東京都港区西新橋3丁目25番31号
☎03-5777-5777

<http://www.morita119.com>

人と地球のいのちを守る

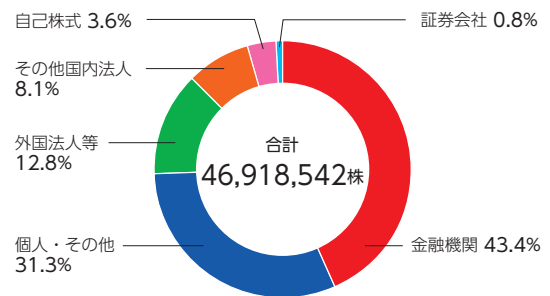
MORITA
株式会社モリタホールディングス

主要グループ会社

株式会社モリタ	兵庫県三田市テクノパーク1番地の5 はしご車、消防ポンプ車、その他各種消防車両並びに特殊車両の開発・製造・販売
モリタ宮田工業株式会社	東京都港区芝2丁目5番6号 芝256スクエアビル8階 消火器を中心とした消火関連機器、消火装置、その他各種防災機器・設備の開発・製造・販売
株式会社モリタ環境テック	千葉県船橋市小野田町1530番地 リサイクル処理施設、その他各種ごみ処理施設の設計施工並びに各種大型油圧機械の開発・製造・販売
株式会社モリタエコノス	兵庫県三田市テクノパーク28番地 衛生車、塵芥車等の環境保全車両の開発・製造・販売
株式会社モリタテクノス	兵庫県三田市テクノパーク32番地 消防車両・救助用資機材等のアフターサービス・メンテナンス並びに電子応用機械器具・情報処理機械器具の開発・製造・販売
BRONTO SKYLIFT OY AB	フィンランド共和国 タンペレ市 屈折はしご付消防車及び高所作業車の開発・製造・販売

所有者別株式数分布状況

2017年9月30日現在



大株主(上位10名)

2017年9月30日現在

株主名	持株数(千株)
第一生命保険株式会社	3,265
モリタ取引先持株会	2,437
株式会社みずほ銀行	2,087
三井住友信託銀行株式会社	2,082
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,057
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,048
株式会社三井住友銀行	2,007
エア・ウォーター株式会社	1,730
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,116
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE HCROO	958

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 当社は自己株式 1,680千株を保有しております。



ユニバーサルデザイン (UD) の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。